



2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 互応化学工業株式会社
 コード番号 4962 URL <http://www.goo-chem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤村 春輝
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部部长 (氏名) 荒田 圭久 TEL 0774-46-7777
 定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,112	△0.5	428	15.0	474	21.8	316	44.7
2019年3月期	7,150	△6.0	372	△49.6	389	△54.6	218	△70.9

(注) 包括利益 2020年3月期 230百万円 (78.1%) 2019年3月期 129百万円 (△84.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	50.08	—	2.3	2.9	6.0
2019年3月期	34.34	—	1.5	2.4	5.2

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	16,210	14,008	86.2	2,210.30
2019年3月期	16,200	13,999	86.2	2,208.96

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,973百万円 2019年3月期 13,965百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,018	△383	△221	1,659
2019年3月期	127	△158	△553	1,247

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00	221	101.9	1.6
2020年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00	221	69.9	1.6
2021年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難であることから未定としております。今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	6,992,000株	2019年3月期	6,992,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期	669,882株	2019年3月期	669,882株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	6,322,118株	2019年3月期	6,370,188株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,790	0.7	410	11.5	444	7.8	317	32.3
2019年3月期	6,746	△5.8	368	△46.7	412	△51.2	240	△68.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	50.28	—
2019年3月期	37.72	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年3月期	15,692		13,548		86.3		2,143.05	
2019年3月期	15,639		13,529		86.5		2,140.00	

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,548百万円 2019年3月期 13,529百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. その他	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における経済情勢は、国内で雇用・所得環境の改善などから緩やかな回復基調にあったものの、2020年に入ってから新型コロナウイルス感染症の影響により世界的に経済活動が停滞し、今後の見通しがたたない状況です。

このような不透明な経済情勢のもと、さらなる高付加価値製品を生み出すために、迅速な研究開発活動と製造経費の削減努力をしております。そして今年の2月に入る頃からは、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを極力避けながら、操業を継続していく方法を検討・実施しております。

その結果、当連結会計年度の売上高は7,112百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は428百万円（同15.0%増）、経常利益は474百万円（同21.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は316百万円（同44.7%増）の減収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(反応系製品)

反応系製品の中で繊維関係は、国内市場において衣料分野、産業分野とも市況が低迷し売上が落ち込み、また海外市場においてはグローバル規模での市況低迷により一般品分野は売上が落ちたものの、当社がターゲットとする高級分野が好調であったことにより輸出は堅調に推移しました。しかしながら、インドネシア市場の低迷により現地での販売が減少したことなどから、グループ全体としては前年同期を大きく下回る結果となりました。

製紙印刷関係は、製紙分野で若干落ち込み、紙加工分野では出版物の減少、パッケージの減少から低調、ダイレクトメール用圧着ニスには前年より動きはあったものの、全体では前年同期を下回る結果となりました。

化粧品関係は、国内においてヘアセット関連は前年同期を下回ったものの、ヘアカラー分野、洗浄剤分野ともに新規採用により好調に推移、また輸出においては前年同期並みの結果であったことから、全体では前年同期を大きく上回りました。

その他工業用分野の中で、水溶性ポリエステル樹脂関係は、国内において主要分野であるフィルム向けが大きく低迷したことにより前年同期を下回りましたが、輸出は包装材料が堅調に推移し、韓国市場の回復、繊維関係でのスポット的な受注も入り前年同期を大きく上回り、全体としては前年同期を上回りました。

転写関係は国内建築市場及び海外陶磁器市場が堅調に推移しました。自動車市場の既存のエンジン関連の製品は縮小の傾向ですが、次世代エンジン関連は引き続き堅調に推移しています。

メッキ関係は国内新車販売台数の減少を受け、車載部品関連は低調も、海外プリント基板関連及び、印刷用途については堅調に推移しました。スクリーン印刷業界はインクジェット化の影響で、捺染市場・グラフィック市場共に縮小の傾向が止まらず低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は6,135百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益1,142百万円（同22.7%増）となりました。

(混合系製品)

国内市場における電子部品関連製品は、レジストインク関係でアミューズメント及び車載関連が堅調、5G通信分野も順調に推移しました。またエネルギー関連製品が徐々に立ち上がりを見せており、量産化へ向けた対応を始めました。

海外市場においても5G通信分野は順調に推移しましたが、中国市場は引き続き環境規制や米中貿易摩擦、新たに新型コロナウイルスの影響により一般家電用途の出荷が低調に推移しました。その他の国への輸出は堅調であったものの中国向けの減少を埋めるには至らず、混合系製品全体としても前年同期を下回る結果となりました。

その結果、当セグメントの売上高は976百万円（前年同期比6.1%減）、営業損失128百万円（前年同期は損失46百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は前連結会計年度末に比べ45百万円減少し10,062百万円となりました。これは、現金及び預金が601百万円、その他に含まれております未収入金が8百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が51百万円、電子記録債権が24百万円、有価証券が300百万円、商品及び製品が74百万円、原材料及び貯蔵品が55百万円、その他に含まれております未収法人税等が67百万円、同じくその他に含まれております未収消費税等が88百万円とそれぞれ減少したこと等によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ54百万円増加し6,147百万円となりました。これは、有形固定資産が164百万円減少しましたが、投資その他の資産が227百万円増加したこと等によるものです。

この結果、総資産は16,210百万円と前連結会計年度末に比べ、9百万円増加しました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は前連結会計年度末に比べ25百万円増加し1,678百万円となりました。これは、電子記録債務が122百万円、未払金が93百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が11百万円、未払法人税等が106百万円、その他に含まれております未払消費税等が123百万円とそれぞれ増加したこと等によるものです。

固定負債は前連結会計年度末に比べ24百万円減少し522百万円となりました。これは、退職給付に係る負債が8百万円増加しましたが、役員退職慰労引当金が33百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は2,201百万円と前連結会計年度末に比べ、0百万円増加しました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は前連結会計年度末に比べ9百万円増加し14,008百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が77百万円、為替換算調整勘定が7百万円減少しましたが、利益剰余金が95百万円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は86.2%（前連結会計年度は86.2%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末から412百万円増加し、当連結会計年度末には1,659百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は1,018百万円（前年同期比697.9%増）となりました。これは主として、税金等調整前当期純利益448百万円（同27.1%増）に対し、仕入債務の減少額110百万円（同12.1%増）、未払金の減少額104百万円（前年同期は増加額71百万円）などがあったものの、減価償却費363百万円（前年同期比5.9%減）、売上債権の減少額71百万円（同49.7%減）、たな卸資産の減少額124百万円（前年同期は増加額196百万円）、未払消費税等の増加額212百万円（同減少額89百万円）などがあったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は383百万円（前年同期比143.0%増）となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入4,781百万円（同18.6%減）、有価証券の償還による収入300百万円（前年同期は－）などがあったものの、定期預金の預入による支出4,971百万円（前年同期比2.2%減）、有形固定資産の取得による支出200百万円（同68.1%減）、投資有価証券の取得による支出311百万円（同0.6%増）があったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は221百万円（前年同期比60.0%減）となりました。これは前期に支出した自己株式の取得による支出の減少（前年同期は支出額291百万円）及び配当金の支払額221百万円（前年同期比15.3%減）があったこと等によるものです。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	85.6	85.0	84.8	86.2	86.2
時価ベースの 自己資本比率 (%)	54.7	55.3	57.3	52.5	37.4
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、緊急事態宣言が全国に発出されている4月末の現段階において、今後の国内外の経済情勢は全く見通しが立ちません。

しかしながらそのような状況だからこそ、取引先との連携を密にし、感染防止策も含め社員の安全を確保した操業体制、原材料などの動向、その他さまざまな情報の交換を行い、サプライチェーンを崩さないことを重視しながら、操業を続けてまいります。

また業績予想につきましては、現時点で様々な予想に基づき、売上高の減少と回復を取り入れて予測値をシミュレーションしてはおりますが、いずれも業績予想とするには至らず、現時点での発表は見送らせて頂くこととさせていただきます。

今後、業績予想の開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,028,343	6,630,307
受取手形及び売掛金	1,634,168	1,582,599
電子記録債権	335,508	311,188
有価証券	300,729	—
商品及び製品	803,332	728,440
仕掛品	299,134	303,668
原材料及び貯蔵品	519,664	464,103
その他	193,729	45,722
貸倒引当金	△7,051	△3,659
流動資産合計	10,107,559	10,062,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,591,840	4,498,883
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,204,388	△3,192,976
建物及び構築物 (純額)	1,387,452	1,305,906
機械装置及び運搬具	6,697,727	6,743,498
減価償却累計額	△6,162,348	△6,266,429
機械装置及び運搬具 (純額)	535,378	477,068
工具、器具及び備品	1,129,501	1,169,283
減価償却累計額	△956,032	△1,008,207
工具、器具及び備品 (純額)	173,469	161,075
土地	2,613,507	2,598,880
建設仮勘定	5,214	7,775
有形固定資産合計	4,715,022	4,550,707
無形固定資産		
借地権	50,286	49,633
その他	24,959	17,665
無形固定資産合計	75,245	67,299
投資その他の資産		
投資有価証券	1,180,229	1,377,231
従業員に対する長期貸付金	4,172	9,243
繰延税金資産	97,503	133,059
その他	36,512	25,323
貸倒引当金	△15,771	△15,122
投資その他の資産合計	1,302,646	1,529,734
固定資産合計	6,092,914	6,147,741
資産合計	16,200,474	16,210,111

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	455,654	467,533
電子記録債務	643,194	520,432
未払金	244,976	151,896
未払費用	3,210	—
未払法人税等	3,619	110,326
賞与引当金	201,940	205,355
役員賞与引当金	14,500	28,000
その他	86,349	195,240
流動負債合計	1,653,444	1,678,785
固定負債		
役員退職慰労引当金	95,837	62,582
退職給付に係る負債	451,473	459,849
固定負債合計	547,311	522,432
負債合計	2,200,755	2,201,217
純資産の部		
株主資本		
資本金	842,000	842,000
資本剰余金	827,990	827,990
利益剰余金	12,763,791	12,859,108
自己株式	△696,010	△696,010
株主資本合計	13,737,771	13,833,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210,197	132,924
為替換算調整勘定	18,099	10,835
退職給付に係る調整累計額	△758	△3,052
その他の包括利益累計額合計	227,538	140,707
非支配株主持分	34,408	35,098
純資産合計	13,999,718	14,008,893
負債純資産合計	16,200,474	16,210,111

(2) 連結損益及び連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,150,027	7,112,062
売上原価	4,709,026	4,633,188
売上総利益	2,441,000	2,478,873
販売費及び一般管理費		
運賃	145,527	146,665
給料及び手当	463,674	491,803
法定福利費	87,508	93,830
役員報酬	143,987	126,513
旅費及び交通費	96,664	87,366
減価償却費	78,760	66,788
貸倒引当金繰入額	6,654	—
賞与引当金繰入額	73,680	85,821
役員賞与引当金繰入額	14,500	28,000
退職給付費用	38,601	44,212
役員退職慰労引当金繰入額	8,824	7,737
研究開発費	490,013	463,614
その他	420,071	407,929
販売費及び一般管理費合計	2,068,470	2,050,283
営業利益	372,530	428,590
営業外収益		
受取利息	11,390	13,545
受取配当金	10,319	11,576
為替差益	—	12,046
受取ロイヤリティー	1,116	813
受取補償金	24,415	6,087
助成金収入	—	8,671
その他	14,788	14,713
営業外収益合計	62,029	67,453
営業外費用		
売上割引	12,408	12,596
為替差損	5,464	—
支払補償費	21,191	—
持分法による投資損失	4,660	7,258
その他	1,103	1,630
営業外費用合計	44,828	21,485
経常利益	389,731	474,558

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	2,499	11,999
特別利益合計	2,499	11,999
特別損失		
役員退職慰労金	35,053	28,507
固定資産売却損	421	—
固定資産除却損	4,068	7,432
ゴルフ会員権評価損	—	2,466
特別損失合計	39,543	38,406
税金等調整前当期純利益	352,688	448,150
法人税、住民税及び事業税	86,492	135,081
法人税等調整額	48,445	△4,786
法人税等合計	134,937	130,295
当期純利益	217,750	317,855
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	218,720	316,591
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△970	1,263
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,648	△77,272
為替換算調整勘定	△15,989	△7,705
退職給付に係る調整額	1,282	△2,427
その他の包括利益合計	△88,355	△87,406
包括利益	129,395	230,449
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	130,932	229,759
非支配株主に係る包括利益	△1,536	689

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	842,000	827,990	12,806,496	△404,182	14,072,304
当期変動額					
剰余金の配当			△261,426		△261,426
親会社株主に帰属する 当期純利益			218,720		218,720
自己株式の取得				△291,828	△291,828
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△42,705	△291,828	△334,533
当期末残高	842,000	827,990	12,763,791	△696,010	13,737,771

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	283,845	33,452	△1,970	315,327	36,360	14,423,992
当期変動額						
剰余金の配当						△261,426
親会社株主に帰属する 当期純利益						218,720
自己株式の取得						△291,828
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△73,648	△15,352	1,212	△87,788	△1,951	△89,740
当期変動額合計	△73,648	△15,352	1,212	△87,788	△1,951	△424,273
当期末残高	210,197	18,099	△758	227,538	34,408	13,999,718

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	842,000	827,990	12,763,791	△696,010	13,737,771
当期変動額					
剰余金の配当			△221,274		△221,274
親会社株主に帰属する 当期純利益			316,591		316,591
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	95,317	—	95,317
当期末残高	842,000	827,990	12,859,108	△696,010	13,833,088

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	210,197	18,099	△758	227,538	34,408	13,999,718
当期変動額						
剰余金の配当						△221,274
親会社株主に帰属する 当期純利益						316,591
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△77,272	△7,264	△2,294	△86,831	689	△86,142
当期変動額合計	△77,272	△7,264	△2,294	△86,831	689	9,175
当期末残高	132,924	10,835	△3,052	140,707	35,098	14,008,893

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	352,688	448,150
減価償却費	386,468	363,793
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△27,422	3,414
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,000	13,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△39,271	△33,254
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,348	5,418
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,654	△3,938
受取利息及び受取配当金	△21,709	△25,121
為替差損益 (△は益)	△4,255	△1,676
持分法による投資損益 (△は益)	4,660	7,258
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2,078	△11,999
有形固定資産除却損	4,068	7,432
売上債権の増減額 (△は増加)	142,633	71,688
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△196,860	124,256
仕入債務の増減額 (△は減少)	△98,922	△110,885
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△89,481	212,124
未払金の増減額 (△は減少)	71,634	△104,081
未払費用の増減額 (△は減少)	△272	△3,168
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△7,113	△7,413
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	25,312	18,759
その他	△48,508	△2,337
小計	454,571	971,918
利息及び配当金の受取額	21,544	26,381
法人税等の支払額	△348,409	20,653
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,706	1,018,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△5,080,843	△4,971,245
定期預金の払戻による収入	5,874,428	4,781,007
投資有価証券の取得による支出	△309,818	△311,815
有価証券の償還による収入	—	300,000
有形固定資産の取得による支出	△629,468	△200,815
有形固定資産の売却による収入	6,369	26,625
無形固定資産の取得による支出	△13,360	—
固定資産の除却による支出	△3,878	△2,910
貸付けによる支出	△2,345	△5,438
貸付金の回収による収入	891	635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,022	△383,956
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△261,460	△221,405
自己株式の取得による支出	△291,828	—
非支配株主への配当金の支払額	△414	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△553,703	△221,405
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	△1,558
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△583,995	412,032
現金及び現金同等物の期首残高	1,831,331	1,247,336
現金及び現金同等物の期末残高	1,247,336	1,659,368

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業務を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループのセグメントは製造方法により「反応系製品」と「混合系製品」に区分しております。

「反応系製品」は主に釜設備で製造する製品で、繊維用糊剤・油剤、化粧品用樹脂、製紙・印刷用樹脂、転写用樹脂等使用用途は多岐にわたっております。

「混合系製品」は主にミル設備で製造する製品で、プリント配線板用のレジストインクなどの電子部品等に使用される製品であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業利益の数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は製造原価に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,109,904	1,040,122	7,150,027	—	7,150,027
セグメント間の 内部売上高又は振替高	148,554	—	148,554	△148,554	—
計	6,258,459	1,040,122	7,298,581	△148,554	7,150,027
セグメント利益 又は損失(△)	930,955	△46,874	884,081	△511,550	372,530
セグメント資産	7,248,633	1,164,890	8,413,523	7,786,950	16,200,474
その他の項目					
減価償却費	313,792	52,746	366,538	19,929	386,468
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	247,960	27,810	275,771	419,397	695,168

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△511,550千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額7,786,950千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
4. その他の項目の減価償却費の調整額19,929千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
5. その他の項目の有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額419,397千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	反応系製品	混合系製品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,135,268	976,794	7,112,062	—	7,112,062
セグメント間の 内部売上高又は振替高	156,423	—	156,423	△156,423	—
計	6,291,692	976,794	7,268,486	△156,423	7,112,062
セグメント利益 又は損失 (△)	1,142,219	△128,436	1,013,783	△585,192	428,590
セグメント資産	6,989,739	1,118,363	8,108,103	8,102,008	16,210,111
その他の項目					
減価償却費	305,652	46,755	352,407	11,386	363,793
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	212,956	12,533	225,490	1,398	226,888

- (注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△585,192千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
2. セグメント利益又は損失 (△) は連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. セグメント資産の調整額8,102,008千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
4. その他の項目の減価償却費の調整額11,386千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
5. その他の項目の有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,398千円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
4,594,185	2,227,776	328,065	7,150,027

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報として同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア	その他	合計
4,613,381	2,158,141	340,539	7,112,062

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	2,208円96銭	2,210円30銭
1株当たり当期純利益	34円34銭	50円08銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	218,720	316,591
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益 (千円)	218,720	316,591
普通株式の期中平均株式数 (千株)	6,370	6,322

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

- ① 代表取締役の役職の変動
該当事項はありません。

② その他の役員の変動

- ・ 新任取締役（監査等委員）候補
取締役（監査等委員） 吉田 弘文（現 吉田弘文税理士事務所 所長）

- ・ 退任予定取締役（監査等委員）
取締役（監査等委員） 竹原 重光

（注） 新任取締役（監査等委員）候補吉田 弘文氏は、社外取締役であります。

- ③ 就任及び退任予定日
2020年6月26日